

チームトレーナーの帯同について

栃高体連バレーボール専門部

チームトレーナーの帯同については、以下 1～4 のとおりとする。

1 登録申請

- (1) 1 チームにつきチームトレーナー 1 名を大会毎に登録申請し、帯同させることができる。
- (2) チームトレーナーは学校長の認める専門の知識と経験を有した者とする。生徒の登録は認めない。
- (3) 定められた様式に記入の上、参加申込書に添えて登録申請を行う。それ以外の申請及び変更は認めない。 ※別紙様式参照

2 確認事項

- (1) チームトレーナーはチーム構成員ではないため、ベンチに入ることはできない。
- (2) 該当する試合のプロトコールから試合終了までは、コントロールエリア外(エンドライン後方)に設定されたトレーナー席に座ること。また、コートチェンジに対応し、自チーム側の席に座ること。
※フェンス等でエリアの区別が困難な場合は、競技の進行や安全を優先にし、会場毎にトレーナー席及びフリーゾーンを設定する。
- (3) 本専門部が貸与するビブスを監督打合せ時に受け取り、試合後は必ず大会本部に返却すること。
- (4) ビブスは、試合前のフリーゾーン内に入る際、及び試合中のトレーナー席に座る際に必ず着用すること。
- (5) 本専門部は、栃高体連「危機管理マニュアル」に則り、傷病者への対応を行う。その際の出場可否を含む判断には従うこと。
- (6) 必要に応じて本人確認を行う場合がある。
- (7) 違反行為等が認められた場合は、本専門部の判断で登録を取り消す。

3 認められる行為

- (1) プロトコール前の合同練習の際は、フリーゾーン内に入り、ウォーミングアップを指示することができる。
- (2) 必要に応じて試合中に施術することができる。その際は、当該選手をコントロールエリア外に出して施術する。

4 認められない行為

- (1) プロトコール前後の合同練習や公式練習において、ボール拾いを含む練習への参加は認めない。
- (2) 試合中において、撮影を含むゲーム分析行為やチームへの戦術通達は認めない。また、大きな声量や座席からの立ち上がりなど過剰な応援も認めない。